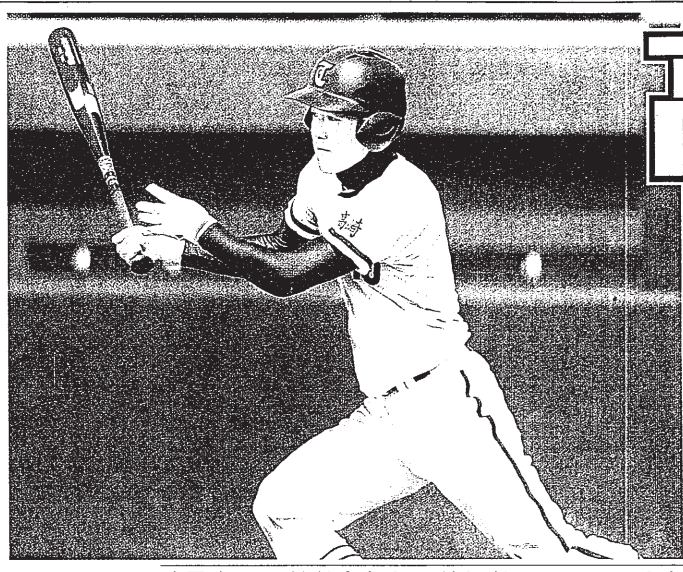
高商 猛打爆発

春季関東高校野球県予選



▽2回戦
富岡 100 000 000 1
高崎商 202 132 ×101
（七回コールド）

◎…一回表に先制を許した高崎商はその裏に岡田、木村の連打ですぐさま逆転。その後も石田の2点三塁打などで突き放した。投げては金井―関の継投で二回以降得点を許さなかった。

富岡は初回に4番富岡容の右前適時打で先制したが、3失策が失点に絡み踏ん張れなかった。

ポジション争いが原動力

昨秋県準優勝の高崎商が一回りスケールアップした。強豪の富岡を寄せ付けずに七回コールド。「先制されても慌てることなく積極的にプレーできた。良かったと思います」。住吉信篤監督(37)が手放しでたたえる快勝だった。

チームの原動力は激しいポジション競争だ。過去に実績があっても定位置が確約されている選手はいない。この日のオーダーでは昨秋決勝のスタメンから3人が入れ替わった。うち2人はベンチにすら入っていなかった選手だ。

その象徴的な存在が6番に入った石田拓哉（2年）。2月に投手から二塁にコンバートされたばかりで、この日が公式戦初出場だった。石田は「緊張で体が動かなかった」というが、二回に難しい飛球を背走しながら好捕するなど6度の守備機会で安定したプレーを披露。打っても五回1死一、二塁で2点三塁打を放ち、つかんだチャンスでしっかりと結果を出した。

石田は「迷わずにフルスイングするのが自分の仕事。スタンドから野球を見る悔しさはもう味わいたくない」。今大会、目が離せない存在になりそうだ。

富岡―高崎商　1回裏高崎商1死一、三塁、岡田が同点の左越え適時二塁打を放つ＝上毛新聞敷島

矢野（徳樹）1安打完封

▽2回戦
渋川 000 000 000 0
徳樹 230 000 002 ×7
（七回コールド）

◎…樹徳は初回1死一、三塁の好機に根岸が中越え二塁打を放ち、2点を先制。2回には渋谷、大竹の安打などで3点を挙げ、6回にも大竹、根岸の連続安打で2点を加えた。

渋川は六回、田中、田子が連続四球と暴投で1死二、三塁としたが、後続に1本が出なかった。

テンポよく攻めの投球　エース矢野

○…樹徳のエース矢野剛士（2年）が1安打完封した。「相手に向かっていく気持ちで、テンポよく投げた。特にカーブが決まった」。立ち上がりから好調で、三回まで三者凡退を続けた。四回には四球と盗塁で、六回にも連続四球と暴投でピンチを招いたが、いずれも後続をピシャリと抑えた。

下半身の強化とスタミナを付けるため冬場の土日は一日20キロ走り込んだ。「次は真っすぐで押していくピッチングをしたい」と意気込んだ。

渋川―樹徳　7回を1安打完封した樹徳の矢野＝あずまスタジアム

高東 好機きっちり

▽2回戦
大間々 000 000 200 2
高崎東 100 030 40× 8

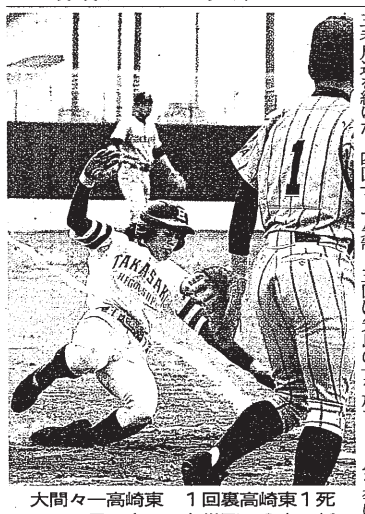
◎…高崎東は初回、1死から吉田が安打で出塁の新井を左犠飛でかえして先制。五回は矢島の2点二塁打と清水真のスクイズで3点を獲得、七回にも武田の3点三塁打などで4点を奪った。

大間々は七回、金子、今泉、大塚、中根が安打を放ち、2点を挙げる粘りを見せた。

矢島3打点 雪辱に貢献

○…高崎東にとって、大間々は昨秋の県大会で敗れた相手。「どうしても負けたくなかった」という矢島篤捕手（3年）は1点リードで迎えた五回、右越えに2点二塁打を放つなど、この日3打点の活躍を見せた。

次戦は強豪の樹徳。雪辱に貢献して勢いづく矢島は「相手打線を2点以内に抑えたい。接戦に持ち込み、チャンスを逃さず一気に攻めたい」と話していた。



大間々―高崎東　1回裏高崎東1死一、三塁、吉田の左犠飛で3走の新井がかえり先制＝あずまスタジアム

星野（健大高崎）10連続K

▽2回戦
場 010 100 ×150

◎…健大高崎が投打に圧倒した。初回に長短5安打と敵失で6点を奪うと、四回にも打者12人の猛攻。門村は2安打3打点、湯本、宇野も2安打2打点の活躍。先発星野は四回まで12奪三振。

万場は打線を封じられたが、四回1死から新井拓の右前打と水谷の四球で二塁を踏んだ。

冬場の努力 見事に開花　星野

○…健大高崎の星野竜馬（3年）が万場戦で初回の先頭打者から10人連続三振を奪った。四回まで登板して安打と四球を一つずつ出したものの、12個全てのアウトを三振で奪取。エースは「直球を低めに集められたのが良かった。冬に頑張ってきた成果が出た」と声を弾ませた。

強力打線が看板の健大だが、昨秋以降は投手間の競争が激化。部内のライバルを意識しながら、冬場はランニングやウエートトレーニング、一日160球の投げ込みをこなしてきた。青柳博文監督(38)も「人一倍走っていると認める努力家だ。次戦は昨夏の準決勝で延長十一回の末0―1で敗れた前橋工と因縁の一戦。星野は「自分たちの野球をすれば勝てる。低めへのコントロールを頭に置いて、0に抑えたい」と早くも闘志を燃やしていた。

前工、逃げ切る

▽2回戦
利根商 002 200 000 4
前橋工 520 001 01× 9

◎…前橋工は初回、田口の右越え三塁打を足掛かりに4安打と失策を絡めて一挙5点を先制。二回にも石原の右中間三塁打と松木の左中間二塁打で2点を追加、序盤でリードを広げた。

利根商は四回、林勇、星、富沢の3連打などで3点差に詰め寄ったが、終盤に突き放された。

桐商、競り勝つ

▽2回戦
桐生商 010 030 011 6
館林商工 200 000 110 4

◎…桐生商は1点を追う五回、川路、広神の連続安打で同点。さらに柿田の中越え三塁打と坂口の中犠飛でこの回3点を挙げた。八、九回にも各1点を加えて、館林商工の追撃をかわした。

館林商工は八回、代打栗田の左前打で1点差に迫ったが、後続を打ち取られた。

きのうの結果

藤岡工 9―2 玉村（八回コールド）
桐生商 6―4 館林商工（五回コールド）
健大高崎 15―0 万場（七回コールド）
前橋工 9―4 利根商
高崎東 8―2 大間々
樹徳 7―0 渋川（七回コールド）
嬬恋 11―6 伊勢崎
高崎商 10―1 富岡（七回コールド）

石川パット失速

マスターズ第3R

▶県内のスポーツ△

積極性を欠き チャンス逃す

武器のドライバーショットはほとんどぶれなかった。「いいショットは打っているんですけど…」と石川遼は苦笑いした。前半2バーディーの後、後半に3ボギー。夢に見たマスターズの決勝ラウンド1日目は苦い結果に。「上に行くチャンスがある土曜なのに、自分でそれを逃した」と悔いた。

モットーとする積極性が後半のグリーンで影を潜めた。右の林から2オンに成功した13番（パー5）。しかし30㍍近いイーグルパットは傾斜を上り切れないほど弱く大幅にショートした。3パットのパーで終わると、同じくパー5の15番でも2オンに成功しながら最初のパットを慎重に打ち過ぎた結果、まさかのボギー。大観衆のため息を誘った。

同組のバンベルトは目の前で、順位を8位にまで上げた。「彼はまだ優勝を狙える位置にいる。自分の消極的なゴルフが露呈した。悔しい」と石川遼。ラウンド後は練習場へ直行して1時間以上もクラブを振り「あと1日ある。来年につながるいい終わり方をしたい」と自らに言い聞かせた。

逆転に暗雲 ウッズ後退

○…パットに苦しんだウッズは4ボギー（2バーディー）をたたき、「パットがまったく入らなかった」と悔しさをにじませた。1番で1・5㍍のパーパットがカップに蹴られるボギー発進。11番では50㍍を外し、15番（パー5）では12㍍から3パット。何度も顔をゆがめた。最終日は7打差を追う。「前半で追い上げれば、まだ分からない」と言うのが精いっぱいだった。

初Vへ前進　マキロイ

○…首位のマキロイは安定していた。4バーディー、2ボギーの70で2位との差を4打に広げた。ウッズ(21歳3カ月)の大会最年少優勝には及ばないものの、21歳11カ月の若さで栄冠に突き進む。「このコースで4打差は大きくないが、自分のプレーをすれば勝てる」と自信を示した。

第3ラウンド、14番でバーディーパットをはずし天を仰ぐ石川遼。通算1アンダーの30位に後退＝オーガスタ・ナショナルGC

プロ野球選手登録

高卒ルーキーただ1人 駿太（オリックス）開幕1軍

駿太

プロ野球セ、パ両リーグは10日、12日の今季開幕戦でベンチ入りが可能な出場選手登録名簿を公示した。本県関係選手では、セリーグは広島の篠田純平投手（前橋商高出身）、横浜の加賀繁投手（上武大出身）の2人。パリーグはオリックスの中山慎也投手（桐生南高出身）と駿太外野手（後藤駿太、前橋商高出身）、楽天の井野卓捕手（前橋工高出身）と大広翔治内野手（同生南高出身）の4人が選ばれた。

駿太は高校出の新人としてはただ1人の開幕ベンチ入り。オリックスの高卒新人野手の開幕1軍は前身の阪急時代を含めて初めて。開幕スタメン出場を果たせば、1959年の東映の張本勲外野手以来52年ぶりの高卒外野手スタメンとなる。

日本ハムの斎藤佑樹投手（太田生品中出身）は2カード目の登板が確実のため、この時点での登録は見送られた。また、昨年1年目ながら開幕戦ベンチ入りを果たした中日の松井雅人捕手（桐生第一高―上武大）も登録されなかった。

新人では駿太のほか、巨人の沢村ら10選手が登録された。米大リーグから国内復帰した楽天の松井稼、岩村もメンバー入り。横浜は森本らパから移籍した5人を登録。故障が響いて登録から外れた選手はセが中日のチェン、吉見、堂上直、巨人の阿部ら。パではオリックスの金子千、西武の岸らの名前が消えた。

「とにかくうれしい」　駿太

○…「とにかくうれしくて、どきどきしている」。オリックスの駿太は開幕を目の前にして胸の高鳴りが抑えきれない様子だ。

オープン戦当初は好調だったが最近では調子を上げてきた投手に抑えられる場面も増えた。だが、厳しく攻められるのは相手バッテリーに認められた証しでもある。すごい投手ばかりだけど、手も足も出ないと思ったことはない。フルスイングはできている」と負けん気の強さをのぞかせる。

開幕戦で当たる福岡ソフトバンクホークスの開幕投手は昨季リーグ最多勝の和田毅が有力。18歳の若武者は「左腕に苦手意識はない。もし出場できたら自分らしく全力で動き回りたい」と闘志を燃やしていた。

菅野（東海大）10奪三振

首都大学野球

首都大学野球リーグは、東海大の菅野智之投手は10日、神奈川・平塚球場で春季リーグ開幕週の城西大1回戦に先発し、8回2安打無失点、10三振を奪って勝利投手となった。

▽1回戦（帝京大1勝）
筑波大 100 001 000 2
帝京大 100 001 000 1
（帝）讃岐、石川―山内（筑）久保貴、野田―松浦

▽1回戦（東海大1勝）
城西大 000 000 000 0
東海大 021 001 03× 7
（城）遠藤、小原、猪瀬、鳥越、伊

▽1回戦（帝京大1勝）
帝京大 000 000 000 0
筑波大 000 000 000 0
（帝）佐藤、岩永、内藤、岩永、内藤、田中、下瀬、越智、泉木、鈴木、館
（筑）岩永、内藤、田中、成山、香平、鈴
▽1回戦（東海大1勝）
城西大 000 000 000 0
東海大 000 000 000 0
（城）岩永、内藤、田中、成山、香平、鈴
（東）岩永、内藤、田中、下瀬、越智、泉木、館
▽1回戦（帝京大1勝）
帝京大 100 000 000 1
筑波大 000 000 000 0
（帝）讃岐、石川―山内
（筑）久保貴、野田―松浦

東京六大学野球

立大 000 000 000 0
慶大 000 000 000 0
（立）小室、岡部賢―平本
（慶）竹内大、菊池、白村、福谷―伊場

▽勝　小室（試合）―勝
▽敗　竹内大（試合）―敗
東大―早大2回戦（早大1勝）
▽本塁打　吉川（東）

早大 000 000 000 0
東大 020 000 000 2
（延長十一回規定により引き分け）
（東）香取、平泉、鈴木―田中
（早）横山、有原、高橋哲、高梨、塚田、市丸、地引

関東学園大 敗れタイに

関甲新学生野球リーグ春季リーグ戦（1部）は10日、埼玉県加須市の平成国際大野球場で第2節2回戦2試合を行った。関東学園大は作新学院大（栃木）と対戦、1―6で敗れて、対戦成績を五分に戻された。関東学園大―作新学院大の3回戦は11日、同球場で行う。

▽2回戦（1勝―敗）
作新学院大 010 000 041 6
関東学園大 000 000 010 1
【作】吉沢、波田【関】坂本、吉田、羽倉―小林▽三塁打　大森（作）▽二塁打　牛嶋（関）
▽同（1回戦）
作新学院大 7―2 平成国際大
関東学園大 1―3 埼玉県立大

東京六大学野球

▽1回戦（立大1勝）
立大 004 000 000 4
慶大 000 000 000 0
（立）竹内大、菊池、白村、福谷―伊場
▽1回戦（東大1勝）
東大 000 000 000 0
早大 020 000 000 2
（東）竹内大、菊池、白村、福谷―伊場
▽勝　小室（試合）―勝
▽敗　竹内大（試合）―敗
東大―早大2回戦（早大1勝）
▽本塁打　吉川（東）

欧州サッカー

家長、移籍後初ゴール

【ミラノ（イタリア）共同】サッカーの欧州各リーグは9日、各地で行われ、イタリアー1部リーグ（セリエA）ではインテル・ミラノのDF長友佑都がキエボ戦でフル出場し、2―0の勝利に貢献した。スペイン1部リーグでマジョルカのMF家長昭博がセビリア戦で移籍後初ゴールを奪い、2―2で引き分けた。

ドイツ1部リーグではDF内田篤人のシャルケがMF長谷部誠のウォルフスブルクに1―0で勝利。岡崎慎司のシュツットガルトはカイザースラウテルンに2―4で敗れた。フライブルクのFW矢野貴章はベンチから外れたが、チームはホッフェンハイムを3―2で下した。オランダ1部リーグではDF吉田麻也とFWカレン・ロバートがフル出場したVVVフェンロがNECナイメヘンに1―4で完敗。フィテッセのDF安田理大はデンハーグ戦で90分間プレーしたが、0―1で敗れた。

マイラリア・セリエA
インテルミラノ 2―0 キエボ
ローマ 2―1 ウディネーゼ
マイングランド・プレミアリーグ
エバートン 3―0 ウルバーハンプトン
ブラックバーン 1―1 バーミンガム
ボルトン 3―0 ウエストハム
チェルシー 1―0 ムムウィガン
マンチェスターU 2―0 フラム
ウェストブロミッジ 3―2 サザーランド
トットナム 3―2 ストークシティ
マドイツ1部リーグ
ハノーファー 2―0 マインツ
ニュルンベルク 1―1 Bミュンヘン
シャルケ 1―0 ウォルフスブルク
オセール 2―2 エンヌ
パリサンジェルマン 2―1 カン
ロリアン 1―1 ソショー
バランシエンヌ 1―1 ナンシー
ボルドー 0―0 アルルアビニョン
ブレスト 2―0 レンヌ
マオランダ1部リーグ
NEC 4―1 VVV
デンハーグ 1―0 デグラフシャップ
エクセルシオール 0―0 スパッフ
ヘラクレス 6―2 ウィレムII
フライブルク 3―2 ホッフェンハイム
ハンブルガ 1―1 ドルトムント
ISV 2―0 マインツ
ハノーバー 1―1 Bミュンヘン
ルク
マスペイン1部リーグ
Rマドリード 3―0 ビルバオ
バルセロナ 3―1 アルメリア
マジョルカ 2―2 セビリア
・マフランス1部リーグ
モナコ 1―0 リール
オセール 2―2 エンヌ
パリサンジェルマン 2―1 カン
ロリアン 1―1 ソショー
バランシエンヌ 1―1 ナンシー
ボルドー 0―0 アルルアビニョン
ブレスト 2―0 レンヌ
マオランダ1部リーグ
NEC 4―1 VVV
デンハーグ 1―0 デグラフシャップ
エクセルシオール 0―0 スパッフ
ヘラクレス 6―2 ウィレムII

永里1ゴール　女子サッカー欧州CL

サッカー女子の欧州チャンピオンズリーグは9日、準決勝第1戦が各地で行われ、日本選手が所属するドイツのクラブ同士の対戦となったデュイスブルクーポツダムは2―2で引き分け、ポツダムの日本代表FW永里優季が前半に1ゴールを挙げた。デュイスブルクの安藤梢はベンチ入りしたが、出場しなかった。第2戦は17日に行われる。

きょうのスポーツ

【県外】
◇野球　東京六大学リーグ戦（早大―東大、慶大―立大）10時・神宮▽首都大学リーグ　東海大―城西大、筑波大―帝京大（10時・平塚）
◇水泳　世界選手権代表選考会最終日（9時・浜松市総合水泳場）
【県内】
◇軟式野球　県民スポーツ祭・県還暦大会（9時、上毛新聞敷島球場）

誘電、敗れる　女子ソフト日本リーグ

（10日・ナゴヤドーム）
日立マクセル 3―1 太陽誘電（1勝）
デンソー 7―0 ホンダ（1敗）
トヨタ自動車 2―1 日立ソフトウェア（1敗）
◆バスケットボール　bリーグ第79日（10日・高崎県体育館ほか）

か

29福岡勝17敗岡 101
25京都勝19敗都 89
31沖縄勝15敗縄 83
22島根勝24敗根 100
29大阪勝13敗阪 82
34152428 19242723 93
23212619 8142614 62
19201529 14152314 66
33281722 40211215 88
22242115 27161819 80
26滋賀勝20敗賀
16大分勝30敗分
10熊本勝31敗熊
15秋田勝31敗田
13宮崎勝33敗崎